



西明寺（甲良町）は、平安時代初期の承和元（834）年に第54代仁明天皇の勅願により開創された天台宗の寺院です。その後「国家鎮護と五穀豊穡、病氣平癒」等を祈願する祈願道場として、また、僧侶を育成する修行道場として、寺領2千石と山林数百町歩が与えられ、17の諸堂と僧坊300坊を有する大伽藍でした。しかし、戦国時代に織田信長による比叡山焼き討ちの直後に、西明寺も焼き討ちにあいました。幸い本

■ 西明寺の紅葉（甲良町）

国宝建造物に秋の彩り



堂、三重塔、二天門が火難を免れ現存しています。寺院は「日本100古寺」、米CNNによる「日本の最も美しい場所31選」にも選ばれた古刹です。特に秋には、境内一円に千本を超えるモミジが真っ赤に紅葉し、枝葉の間から差し込む木漏れ日に暖かさを感じます。11月に満開となる天然記念物の「不断桜」とのコントラストも楽しめます。最近では、雨上がりに山

内に自生しているさまざまな種類のコケが、一段とみずみずしく輝き「近江の苔寺」と呼ばれ静かな名所となっており、合わせで、境内にある国指定の名勝庭園「蓬萊庭」は四季折々の変化が楽しめます。本堂は、鎌倉時代の代表的な建造物で国指定第一号になり、直後に三重塔も国宝に指定されています。二つの国宝建造物以外にも本堂内には、霊験あらたか

な秘仏である「本尊の薬師如来立像（重要文化財）」が安置されています。ご本尊（県指定文化財）が厨子の周りに安置されており、十二神将は十二支の動物の顔をのせたユーモラスな親しみやすさが特徴です。西明寺は、歴史と文化の寺院で、紅葉と信仰の寺院でもあります。この時期に紅葉を楽しんでいただき、しばし幽玄の世界に引き込

まれてみませんか。（甲良町観光協会・若林嘉昭）

【アクセス情報】西明寺には名神高速道路「湖東三山スマートインターチェンジ（IC）」から信号を右折、国道307号を直進3分。駐車料金は無料。



これまでの「しが旅のススメ」はこちら



① 紅葉に包まれる西明寺の三重塔
② 本堂に安置している虎薬師「いずれも甲良町観光協会提供」

しが旅のススメ

